

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育む。
- (2) 具体目標
- 気力あふれる生徒 ○創造性を伸ばす生徒 ○心の豊かな生徒 ○進んで仕事をする生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- (1) 目指す学校像
- 互いを認め合い，思いやりのある学校
- 保護者・地域から信頼される学校
- (2) 目指す教師像
- 高い指導力と愛情をもって，生徒と向き合える教職員
- 生徒のよさを認め，伸ばす教職員
- 協調性に富み，責任感のある教職員

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

生徒を中心とした活力に満ちた明るく，楽しい学校づくりを目指し，全教職員が和と協力，熱意，人間尊重の精神を基盤に『生きる力』をはぐくむ教育に取り組むとともに，地域の特性を生かした特色ある学校経営を推進する。

- (1) 確かな学力の育成・・・コミュニケーション能力を高める活動を通して，学ぶ楽しさや意欲等の情意面の高揚を図り，自ら学び自ら考える力を育むともに基礎基本の確実な定着を図る。
- (2) 豊かな心の育成・・・生徒が活躍できる場の設定と異年齢集団活動及びボランティア活動の充実を図り，心豊かな生徒の育成に努める。
- (3) 安全指導の徹底と健康体力の増進・・・登下校の安全の徹底を図るとともに食育及び健康に関する指導の充実を図る。
- (4) 特別支援教育の充実・・・全教職員の共通理解のもと，配慮が必要な生徒に対して連携協力して指導する。
- (5) 小中一貫教育の推進・・・鬼怒地域学校園の課題を把握し，小中が連携して解決を図る。
- (6) 家庭・地域との連携強化・・・家庭や地域に情報を積極的に発信するとともに，生徒の地域行事への参加を促す。
- (7) 教職員の資質の向上・・・自らが課題を意識し，教育のプロとしての自負と責任をもちコンプライアンスを遵守する。また，授業力の向上に努める。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自立 ～よりよい判断をし，学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】「小中一貫教育・地域学校園」に関する取組の充実を図る
- 【学 習 指 導】「地域とともにある学校づくり」に関する取組の具体化を図る
- 【児 童 生 徒 指 導】「宮っ子心の教育」に関する取組の具体化を図る
- ・ボランティア活動の充実
- ・「鬼怒プライド賞」（校内善行賞）の積極的活用
- 【健康（保険安全・食育）・体力】「宮・キャリア教育」に関する取組
- ・ライフプラン学習の導入
- ・宮チャレ活動の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「私は今の学校が好きである」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	① 生徒会の活動時間を定期的に確保し、生徒主体の活動を促進していく。 ② 互いに認め合い、励ましあえるような目標や活動内容を工夫する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約85%で、昨年度とほぼ同じで、概ね達成できている。 【次年度の方針】 ① 生徒会の活動時間を定期的に確保し、生徒主体の活動を促進していく。 ② 互いに認め合い、励ましあえるような目標や活動内容を意図的に設定する。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 先生方は大切なことを熱心に指導してくれる」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	各種テスト等の結果をもとに、生徒の実態に即した指導の充実を図り、学習習慣や基礎学力の定着を目指す。	A	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約92%で、昨年度とほぼ同様である。 【次年度の方針】 各種テスト等の結果をもとに、生徒の実態に即した指導の充実を図り、学習習慣や基礎学力の定着を目指す。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 「生徒は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	家庭との連携を図りながら、継続して基本的なルールやマナーを根気強く指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が72%で、昨年度より約5%向上している。また保護者の肯定的回答も2%向上している。 【次年度の方針】 家庭との連携を図りながら、継続して基本的なルールやマナーを根気強く指導していくとともに褒めて伸ばす指導の充実を図る。
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「先生方の授業は、わかりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	① 各教科で重点目標を検討し、目標達成のための学力向上プランを実践していく。 ② ホームページや各種たより等で学校の取組を発信するとともに、家庭の協力を継続して呼びかけていく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約85%で、概ね達成できている。しかし、保護者の肯定的回答が5%低下した。 【次年度の方針】 ① 各教科で重点目標を検討し、目標達成のための学力向上プランを実践していくための共通認識・共通理解を図る。 ② ホームページや各種たより等で学校の取組を繰り返し発信するとともに、家庭の協力を継続して呼びかけていく。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	① 学校の取組について定期的に情報提供していく。 ② 学校生活全体を通して、人権意識の向上を図っていく。	A	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約90%で、昨年度より3%低下した。依然として保護者の意識との差が見られる。 【次年度の方針】 ① 学校の取組について定期的、積極的に情報提供していく。 ② 学校生活全体を通して、人権意識の向上を図り、生徒会によるいじめ撲滅キャンペーンを企画する。

	A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 ◎教職員の肯定的回答 80%以上		前年度課題の残った日課や行事について、改善点を確実に次年度へ引き継いでいく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答が約 98%で、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 今年度課題の残った日課や行事について、改善点を明らかにし、確実に次年度へ引き継いでいく。
	A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 「学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ◎保護者の肯定的回答 80%以上		① ホームページの定期的な更新や内容の充実に継続して努める。 ② 悪天候に伴う登下校時刻の変更等の連絡については、迅速にメール配信を行う。	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答が約 92%で、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 ① ホームページの定期的な更新や内容の充実に継続して努める。 ② 悪天候に伴う登下校時刻の変更等の連絡については、迅速にメール配信を行う。
	A 8 「学校は家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 ◎地域住民の肯定的回答 80%以上		地域団体と地域連携教員及びコーディネーターとの連携が深まり、活動の充実が見られたので、特色ある学校づくりとして定着するよう努めていく。	A 【達成状況】 地域住民の肯定的回答が 100%で、達成できている。 【次年度の方針】 地域団体と地域連携教員及びコーディネーターとの連携が深まり、活動の充実が見られたので、PTA とも連携した特色ある学校づくりとして定着するよう努めていく。
	A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 「学校は清掃が行き届き学習しやすく潤いのある環境である」 ◎保護者の肯定的回答 80%以上		① 今年度導入した無言清掃の定着に努めていく。 ② 季節に合った植物を栽培したり、定期的な花壇の手入れをしたりして、継続して緑化活動を推進する。	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答が約 85%で、概ね達成できている。 【次年度の方針】 ① 無言清掃の定着、<u>充実に</u>努めていく。 ② 生徒会を中心として、季節に合った植物の栽培や花壇の手入れ、フラワーロード管理等、継続して緑化活動を推進する。
	B 1 社会性を育む生徒指導の推進に努めている。 【数値指標】 「生徒は登下校の際、交通ルールやマナーを守っている。」 ◎教師の肯定的回答 80%以上		交通マナーやルールの徹底に向けた指導を強化するとともに、通学路の整備・見直しを進め、家庭との連携を図り協力を求めている。	B 【達成状況】 教師の肯定的回答が約 33%で、低いレベルにある。 【次年度の方針】 ① 交通マナーやルールの徹底に向けた指導を強化するとともに、通学路の整備・見直しを進め、家庭との連携を図り協力を求めている。 ② 危険箇所については、保護者、地域からも行政に働きかけてもらう。
	教育活動の状況	生 活 A 10 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 「生徒は時と場に応じたあいさつをしている」 ◎生徒の肯定的回答 80%以上	大きな声ではっきりとあいさつができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 85%で、概ね達成できているが、教職員や保護者との意識の差が大きい。 【次年度の方針】 大きな声ではっきりとあいさつができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導していくとともに、生徒会での挨拶運動の充実を図る。

		A11 生徒は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 「生徒は時と場に応じた言葉づかいをしている。」 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	時と場や相手を考えての言葉づかいについて、生徒会等を使って啓発していき、道徳の授業との関連や家庭との連携も図り指導していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 78%で、昨年度とほぼ同様である。教職員・保護者との意識の差が大きい。 【次年度の方針】 時と場や相手を考えての言葉づかいについて、生徒会等を使って啓発していき、道徳の授業との関連や家庭との連携も図り指導していく。また、教師自らが率先する。
		B2 部活動に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	心・技・体のバランスのとれた生徒の育成を目指し、継続して意欲的に取り組めるよう活動の充実を図る。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答が 95%で、ほぼ達成できており、大会でも好成績を収めた。 【次年度の方針】 心・技・体のバランスのとれた生徒の育成を目指し、継続して意欲的、自主的に取り組めるよう活動の充実を図る。
	健康・体力	A12 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 「生徒は休み時間や放課後など進んで運動している。」 ◎教職員の肯定的回答 80% 以上	体育館活用プロジェクトやいじめ撲滅バレーボール大会等、イベントを適度に織り交ぜながら、進んで運動しようとする意欲をさらに高めていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答が約 83%で、概ね達成できている。 【次年度の方針】 体育館活用プロジェクトやいじめ撲滅バレーボール大会等、イベントを適度に織り交ぜながら、進んで運動しようとする意欲をさらに高めていく。
		A13 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 「自分は、好き嫌いなく給食を食べている。」 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	給食週間、マナーアップ週間、お弁当の日を通して、食の大切さを指導するとともに、部活動でのスポーツ栄養学の指導や保護者会等において食育に関する講話を行い、啓蒙を図る。	A 【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 69%で、好き嫌いのある生徒が依然 3割強である。 【次年度の方針】 昼の放送、家庭科の授業を通して、食に対する関心を高めさせるとともに、保健だより、食育だより等で、栄養指導について家庭との連携を図る。
		BB3 体育の授業や学校行事各種大会を通して自分の健康・体力保持増進に対する関心を深めている。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	外部講師による各種講話を継続するとともに、学校行事や部活動等に目標をもって取り組めるよう、活動の内容や方法を工夫していく。	A 【達成状況】 生徒の肯定的回答が 92%を超えており、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 性教育や薬物乱用防止、たばこの害等について外部講師を招いての講話を聞くことで、健康に対する関心を高め、正しい知識や自ら健康を守ろうとする態度を身に付けさせる。
	学 習	A14 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど積極的に学習している。」 ◎教職員の肯定的回答 80% 以上	① 集中して授業に取り組めるよう、基本的な学習態度について、継続指導する。 ② 生徒が主体的に学べる学習内容や学習形態の工夫改善を図る。	A 【達成状況】 教職員の肯定的回答が約 60%で、昨年度とほぼ同様である。基本的な学習態度が身に付いていない生徒も見られる。 【次年度の方針】 ① グループやペアで互いに深め合い、学ぶ合うなど生徒の主体的な学習場面を多く設定し、学習意欲の向上を図る。 ② 言語活動の充実を目指し、話し合う活動を意図的に取り入れていく。

	A15 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てるとともに、教室の学習環境の整備に努める。また、授業のあり方について教職員での共通理解を図る。	A 【達成状況】 生徒の肯定的回答が約73%で昨年度よりも6%上昇しており、教職員の肯定的回答は約18%上昇した。 【次年度の方針】 話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てるとともに、教室の学習環境の整備に努める。また、基礎・基本事項の反復学習を行う。授業のあり方についても教職員での共通理解を図る
	B4 学校は、宿題を出したり、学習計画を立てさせたりして、学力の定着に努めている。 【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答80%以上	学力定着について数値目標を立て、達成のための具体策について、学年や教科で検討・実践していく。	A 【達成状況】 教職員の肯定的回答が約92%で、ほぼ達成できているが、保護者との意識の差は大きい。 【次年度の方針】 ① 学力定着について数値目標を立て、達成のための具体策について、学年や教科で検討・実践していく。 ② 家庭学習の方法についても、積極的に生徒・家庭に紹介していく。
本校の特色・課題等	B5 地区内各種ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は地域での美化活動や地域の行事・ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	生徒が無理なく地域の行事やボランティア活動に参加できるよう、地域の行事の日程と部活動の練習計画の調整を図る。また、事後報告等を充実させ、保護者等に発信していく。	A 【達成状況】 生徒の肯定的回答が約83%で、昨年よりも内容、参加人数や機会は増加した。 【次年度の方針】 地域連携教員とコーディネーター等の連携を図り、地域の行事の日程と部活動の練習計画の調整を図る。また、事後報告等を充実させ、保護者等に発信していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・全体的に昨年と比べ、肯定的回答のポイントが向上した項目もあるが、保護者の肯定的回答との差が見られた。特に共通質問のNo4・No5については、保護者のポイントが5%程度下降している。
- ・いじめ対策や交通マナー、家庭学習の進め方については、昨年同様、学校側と保護者のアンケート結果に大きな差が見られる。学校の取組について、保護者会やホームページ、各種たより等で積極的な情報発信を継続していく必要がある。
- 学力面については、基礎・基本の定着が小学校でも課題となっている。

6 学校関係者評価

- ・学校全体が良い方向に向かっているのを感じる。学校の取組が保護者や生徒にも浸透してきている結果ではないか。しかし、いじめの取組等は保護者に伝わっていない様子も見られる。一層の努力をしてほしい。
- ・学力向上については小学校も共通しており、落ち着いた学習環境やわかる授業の展開が大切である。
- ・地域学校園であいさつ運動を展開するのも、一つのよい方法である。
- ・自転車の並進や右側の逆走を見かける。難しいことであるが、交通ルールの徹底を図らせてほしい。
- ・生徒と地域のつながりという観点からも、地域の行事におけるボランティア活動は今後も継続してほしい。地域として大変助かっている。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 学力向上や基本的生活習慣については、今後も地域学校園で具体策を検討しながら連携して指導をしていく。
- ・いじめに関しては、学校の取組に保護者も不安を持っている。積極的な情報公開で不安を取り除くことが必要である。
- ・自転車通学のマナーについては、保護者や地域の協力が必要である。地域協議会や自治会の回覧等を通じ、現状を知らせながら協力を呼びかけていく。
- 部活動と地域行事の調整を図る意味でも、地域学校園のカレンダーの制作を考えていく必要がある。

